

「耕す」意識を大切にして 一保護者・地域の方々と共に一 本年もよろしく願い申し上げます

校長 千葉 貴樹

寒さ厳しい年末年始でしたが、各ご家庭におかれましては、新しい年への様々な思いと期待を抱きながら、穏やかな新年を迎えられたことと思います。

去年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4回目の緊急事態宣言が発令されたものの、ワクチン接種や基本的な感染予防対策の効果もあり、収束の兆しが見え、学校行事も工夫した中で実施できましたが、昨年12月前後から新たな変異株の影響により、予断が許さない状況が続いております。

どのような状況になっても、本校では、国・都の動向や市教委の方針と本校の様々な状況を照らして見通しをもち、できる範囲の中で、できることを最大限、学校の組織力と保護者・地域の方々や関係機関との連携力を駆使して、行っていきます。また、ある程度余裕をもって計画・実行し、細かな変化に微調整・修正しながら臨機応変に行ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

さて、年が改まったことを受けて、今年1年、大切にしたいと考えている言葉を紹介します。

それは「耕す」という言葉です。

皆様もご存じのように、作物を健全に育てるのには、畑の土をどう作るかにかかっています。固く締まった土をほぐすこと、つまり「耕す」ことで、土の中に空気をたっぷり含ませ、水はけをよくし、作物が土の中に根を伸ばしやすくなります。また、酸素を必要とする土壌微生物の活発な働きにより、畑に投入した堆肥などの有機物の分解が進み、作物に栄養を十分に供給できるようになります。

このことを教育に置き換えて考えてみました。

例えば、「子どもたちの健やかで心豊かな成長を可能にする学級・組織づくり」についてです。

教師による学級や子どもたち一人一人の状況に即した、的確で適時性のある支援や指導、声掛けを行う。つまり、教師が学級や子どもたちの学びを「耕す」ことにより、子どもたちが自由闊達に活動する、そして自分らしさや頑張り、一人一人がもっている良さや可能性を發揮できるような雰囲気を作り、いつも新鮮で明るく躍動感のある学級や授業づくりにつなげていく。そのような学校を目指して、保護者・地域の方々や関係機関と連携・協働していきたいと考えておりますので、今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

1月の行事予定

※ () の中の数字は学年を表します

11日(火) 始業式・大掃除

12日(水) 給食始、体測(1)

13日(木) 特別時程、体測(2)

14日(金) 体測(3)

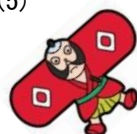
17日(月) 委員会活動、体測(4)、キラリ指導始

18日(火) 安全指導 計測(5)

19日(水) 計測(6)

20日(木) 食育授業(2)

21日(金) 4時間授業



24日(月) クラブ活動、書写展始、短縄週間始

25日(火) 5時間授業

26日(水) 4時間授業 避難訓練 読み聞かせ(1)

さいわい塾、はっぴいスマイルくらぶ

27日(木) 校外学習(4)、読み聞かせ(5)

薬物乱用防止教室(5,6)、短縄週間終

28日(金) バリアフリー体験学習(4)

読み聞かせ(6)

29日(土) 学校公開、道徳授業地区公開講座

31日(月) 6時間授業(5,6)、読み聞かせ(3)

2月当初の予定

1日(火) 校外学習(5)

2日(水) 4時間授業 さいわい塾

3日(木) 音楽鑑賞(1, 2, 3) 4時間授業

4日(金) 落語キャラバン(4) 書写展終

1月の生活目標「あいさつにひとことつけたそう」

『あいさつは、相手の目を見て、笑顔で、地域の方にも』と声かけをしています。
1月は、特に「一言つけたそう」をめあてに、「おはようございます。」だけでなく、「今日も元気で頑張ります。」「今日は〇〇が楽しみです。」など、上手に一言付け加えてあいさつできるよう、学校全体で取り組んでいきます。たくさんのいいあいさつができるといいですね。

☆ 校内書写展

校内書写展担当 中村 好夏

今年度は1月29日(土)～2月4日(金)の期間で校内書写展を開催します。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆での作品を廊下に展示します。

授業や冬休みの宿題で取り組んだ練習の成果をお見せするとともに、お互いの良さを見合いながら学び合います。一人一人が気持ちを込めて、丁寧に書いた力作を、ぜひご覧ください。

☆ 大縄週間

大縄週間担当 加藤 成将

幸小学校では、体力の向上や粘り強く取り組む態度の育成を目指して、年に3回大縄週間・記録会を行っています。2回目の大縄週間が11月30日～12月8日で行われ、12月9日に記録会を行いました。中休みだけでなく、朝遊びの時間や昼休みに練習する姿も見られ、多くの学級が、第1回目よりも記録をさらに伸ばしていました。2月に今年度最後の大縄週間・記録会を行います。各学級、どれだけ記録が伸びるか楽しみです。

☆ 感染症（ウイルスを考える）

保健主任 片岡 美和

「ウイルス」はもともと「毒」として発見されたそうです。私たちの細胞に入って何千倍、何万倍に増殖していくものでもあり、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスのように病気をもたらします。新型コロナウイルスが型を変化させ私達の生活を脅かしてきました。しかし、昔から「ウイルス」も「生物」も進化してきたと考えられています。ウイルスがいたからこそ今の私たちがいるとの考えもあるそうです。新型コロナウイルス感染症予防対策はいまだ継続中です。私たちの心身が「毒」化しない健康な生活を続けていきましょう。

☆ 原爆先生授業

第6学年主任 小泉 友

12月6日(月)に原爆先生の授業がありました。池田先生という、お父さんが実際に広島で被爆した方から、お父様の実体験をもとにお話をいただきました。詳しい資料とその時の情景が目につくような臨場感のあるお話です。子供たちも引き込まれていました。「戦争は、いけないことだ。」ということについて、言葉だけで理解するのではなく、具体的なイメージをもって感じる事ができた、と思います。

☆ バリアフリー体験授業（4年生）

第4学年 池谷 典子

4年生は、幸タイムの時間に『心のバリアをなくそう』という学習を行っています。12月3日(金)には、自立生活センターより講師を招き、車いす、白杖を用いた目隠し歩行の2つの体験を行いました。体験したことをもとに、1月に再度交流を行う予定です。

体験の様子



体験の終わりには、子どもたちから、たくさんの質問が
出ました!!。